

第 2 回 湯沢駅周辺複合施設整備基本計画策定市民会議 議 事 録

○日 時

令和 3 年 7 月 27 日(火) 14:00～

○場 所

湯沢市役所本庁舎 2 階 会議室 25・26

○出席者

委員出席者	その他出席者
湯沢市日本語教室：高橋 大匡 湯沢市立図書館協議会：中野 貴美子 湯沢市文化財保護審議会：清水川 隆 育児サークル ひよこクラブ：太田 暁子 湯沢市自治組織連絡協議会：菊地 洋一 湯沢商工会議所：佐々木 慎 湯沢市観光物産協会：山脇 幹 湯沢市社会福祉協議会：戸部 真紀子 公募：半田 晋 公募：高橋 節子 湯沢市公共施設アドバイザー：川嶋 幸夫	
事務局	
湯沢市 子ども未来課 課長：佐藤 美奈子 子育て支援総合センター センター長：佐藤 孝子 生涯学習課 課長：高橋 秀明 文化財保護室 室長：高山 明 湯沢市生涯学習センター 所長：高橋 一志 生涯学習課社会教育班 班長：谷藤 真希子 湯沢図書館 館長：高山 見美子 企画課 課長：阿部 誠 企画課企画政策班 班長：小山 貢 企画課企画政策班 主査：阿部 大祐 企画課企画政策班 主査：佐々木 勝之	八千代エンジニアリング株式会社(以下、「八千代」) Web：奥平 詠太、関口 和正、八木 恒憲

○配布資料

第 2 回 湯沢駅周辺複合施設整備基本計画策定市民会議 次第

資料 1－1 市民アンケート調査結果の概要版

資料 1－2 行政機能ごとの利用者意見の概要

資料 2 市民意見を踏まえた課題整理

資料 3 行政機能ごとの事業展開と必要な諸室(案)について

資料 4 行政機能ごとのフロアイメージ

参考資料 1 湯沢駅周辺複合施設整備に関する市民アンケート調査 報告書(単純・クロス集計結果)

○議事録

1 開会

- ・司会より開会のあいさつ。

2 あいさつ

- ・川嶋会長よりあいさつ。

【川嶋会長】	前回の市民会議では、事務局より基本構想とそれに基づき市が想定する事業展開案についてご説明がありました。本日は、行政機能においてどのようなサービスを行う想定か、施設をどのような構成とするか、どの程度のスペースを設けるかの案を事務局よりご説明いただき、それらを受けて委員の皆様でご議論をできればと思います。また、現在、民間意向調査を実施しており、本事業に対してどれだけ民間事業者が参入してくるかによって、複合施設の構成や内容も変わってくるかもしれません。本日の説明はあくまで現段階で市が想定している事業概要であるため、議論によって市の想定する内容の良いところ、悪いところのご意見をいただければと思います。 是非皆さんの闊達なご意見を頂戴できればと思います。
---------------	---

3 議事

(1) 市民アンケート調査等の結果について

- ・事務局（市）より資料1～2の説明

【川嶋会長】	資料1～2の内容について質問や意見はございますでしょうか。
【中野委員】	資料1-1の5ページ、(1)回答者の属性について、15～19歳、20～29歳の回答割合が少なくなっていますが、回収の段階で当該年代の割合が少なかったのでしょうか。
【事務局】	湯沢市の人口構成の関係により、無作為抽出した場合、若い年齢層への配布数そのものが少なくなってしまうことが理由と思われます。湯沢市では、できるだけ若い年齢層に回答してもらうよう「湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例」に基づいて配布させていただいていますが、それでも若い年齢層の回収率は他の年齢層に比べて低くなってしまいます。
【中野委員】	住み続けたい街を実現するためには、若い年齢層の意見を複合施設に反映させることが重要だと考えます。
【川嶋会長】	ご意見として承りました。事務局は基本計画を策定する際には、若い年齢層の意見が反映されているかを留意するようお願いいたします。

(2) 公共施設の機能・規模について

- ・事務局（市）より資料3～4の説明

【川嶋会長】	資料3の内容について質問や意見はございますでしょうか。
【高橋（大）委員】	1haの敷地に対して、4,200㎡の行政機能を整備する現在の案は、どのような理由や根拠により設定したのでしょうか。もっと大きな規模を整備してもよいのではないのでしょうか。
【事務局】	各行政機能の既存施設の利用状況等を踏まえたうえで、過大にならないような諸室の面積を設定しています。生涯学習機能では、既存の湯沢生涯学習センターの諸室の利用率の調査を基に設定しています。例えば、会議室の利用率は20%程度であり、利用人数が10人以下となっていたため、会議の機能を有する諸室は面積縮小を図っています。子育て支援機能については子どもの数に比例した面積設定をすることは望ましくないため、近隣市町村の類似施設を参考とした規模としています。それらを踏まえて、行政機能は合計で4,200㎡としました。
【高橋（大）委員】	既存施設の実績をもとに設定したのであり、あくまで4,200㎡を整備する前提で各行政機能に面積を割り振ったわけではないということですね。では、まだ面積を大きくすることはできるという理解で良いのでしょうか。
【事務局】	規模を大きくすればするほど、イニシャルコストやランニングコストが増大するため、導入予定の行政機能の運用に必要な面積を確保するという考え方のもと、4,200㎡程度という規模を設定しています。
【高橋（大）委員】	既存施設の利用状況を基に規模を設定しているということですが、市として、現在の利用率をさらに伸ばそうとする考えはないのでしょうか。
【佐々木委員】	高橋（大）委員の意見は重々承知していますが、人口減少下のなかで、利用者を増やすことは市民の施設として必要なのか、ランニングコストがかからないような施設とした方がよいのではないかと考えます。商工会議所の立場からすれば、それよりも、他市から来てもらえるような施設として交流人口を増やし、湯沢市にお金を落としてもらうことが必要と考えます。これから15年間は人口減少が避けられないなかで、今の住民に対して利便性の高い施設としつつ、負担が少なくランニングコストも少ない施設とすることで良いと思われまます。少なくとも規模を大きくすればランニングコストが大きくなることは明白です。
【山脇委員】	<p>観光物産協会としての立場ではなく、私見ですが、佐々木委員の意見はもっともだと思いますが、子育て世代としては、人口減少下だからといって後ろ向きな考え方でコンパクトな規模としておくことは、人口流出につながることも想定されます。観光物産協会の立場としては、なぜ複合施設が駅前に作られるのか、もっと他市から人が集まる道の駅のような施設としてもよいのではないかと考えます。ほかの地域に無い、蔦屋図書館などの魅力的な施設を駅前に作るとはよいと考えますが、複合施設として4つの機能を集約する必要があるのでしょうか。図書館機能と子育て支援機能は同一施設としても良いと考えますが、生涯学習機能は別でも良いと思われまますし、歴史資料展示機能は独立して単館とした方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>事務局にお聞きしますが、本日の資料に示された行政機能・規模の案は決定済みであり変更することはなく、サービス内容に対する意見を委員に議論して</p>

	<p>ほしいと考えているのでしょうか。それとも行政機能・規模自体もたたき台であり、本日の委員の意見を踏まえて変更する可能性や余地があるのでしょうか。</p> <p>既存の湯沢市子育て支援総合センターは、ソフト面はうまく運用されていると思いますが、駐車場の少なさなどのハード面はあまりよくない状況です。本事業により整備される複合施設が高層階となってしまうと、あまりハード面の解消ができないのではないのでしょうか。</p>
【川嶋会長】	3人の委員からの意見について、事務局から何かご意見はありますか。
【事務局】	<p>高橋（大）委員と佐々木委員のご意見はどちらもごもっともです。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、湯沢市の2040年の人口は、3万人まで減少することとなっています。高橋（大）委員より、複合施設の面積を大きくするようチャレンジするべきだ、という意見がございましたが、参考として、現在想定している行政機能の面積は既存施設の面積に比べて、生涯学習機能は70%強、図書館機能は79%、子育て支援機能は150%、歴史資料展示機能は元々湯沢市に存在しない施設であるため面積増となっており、全体で共用部を含めて4,200㎡としています。必ずしも既存施設に比べて面積を縮小しているだけということではありません。また、佐々木委員のご意見の通り、本計画はライフサイクルコストの削減という観点もあって、行政機能の複合化を目的としています。</p> <p>駅前に4つの行政機能が全て必要なのか、という意見について、駅前には商業地域となっており、行政機能のほか民間機能も誘致できればと考えています。基本構想を基本に検討したいと考えていますので、行政機能・規模を大きく変更することは考えていません。</p> <p>委員の皆様には、本日資料説明した範囲の中で、行政機能を最大限活用するためのご意見をいただき、基本計画を策定したいと考えています。</p>
【高橋（節）委員】	<p>国道沿いの北側部分の土地を湯沢市が買い取ることはできないのでしょうか。現在お店が入っている建物になります。狭い道路であり倒壊の可能性もあると考えれば、土地を買い取り、複合施設として一体的に整備した方が安全面でもよいと考えます。</p>
【事務局】	<p>敷地については、現在の1haの土地の中で複合施設の整備を検討することを考えています。当該建物の施設の安全面や日照の問題については、本事業とは別途で検討する話と考えます。</p>
【高橋（大）委員】	<p>市民アンケートにおいて、「施設が古い、狭い、汚い」という回答割合が多いのに対して、本資料で説明のあった行政機能を狭くする案について、市民会議で議論する必要があると考えます。</p>
【事務局】	<p>市民アンケート結果では、「施設が古い・狭い・汚い」という意見となっていますが、果たして、施設が狭いことにすべての意見が集中しているかは定かではありません。事務局として、市民アンケート結果は、既存施設の老朽化によって利便性が悪いことに対して問題があるものと解釈しています。</p>
【高橋（大）委員】	<p>例えば、図書館では現在蔵書冊数12万冊に対して、16万冊を整備することになっていますが、どのように収蔵するための面積を確保するのでしょうか。</p>

	<p>歴史資料展示機能に関しても収蔵庫 70 m²となっていますが、必要な資料を収蔵できる規模なのでしょうか。せつかく複合施設を建てるのであれば、駐車スペースについても、雪の日に対応できるように施設 1 階への駐車場の整備や電気自動車の電源設備の整備も検討してほしいと考えます。</p> <p>市の予算が少なく、小さい複合施設しか建てられないということでなければ、20 年後 30 年後の市民のために若い世代の意見を取り入れた方が良いと思います。</p>
【川嶋会長】	<p>ご意見として承ります。そのほかの委員の方で意見はございますでしょうか。</p>
【中野委員】	<p>第 1 回市民会議において、本事業に対する市としての行政的な意見は伺っていますが、できれば、夢のあるような施設の将来像をご提示いただいた上で、予算の関係上実現が難しい条件などを整理し、最終的な市の想定を示してほしいと思います。</p> <p>アンケート調査において、狭いという意見がありましたが、私自身も既存施設は狭いと感じています。行政機能を 4 つ全て入れなくても、ゆったりしたスペースを確保することがいいのではないのでしょうか。また、民間機能にどのような施設が入るかによって、行政機能と民間機能の構成も変わってくるのかと思いました。</p>
【事務局】	<p>基本計画の中で複合施設の施設構成としていろいろなパターンを作成していくようなプロセスは、予算や時間も考えると難しいと考えています。したがって、導入する行政機能のパターンはある程度絞ったうえで、概算費用を算出し、絞った機能以外にもできることはあるのかといった + α の部分を検討していければと考えています。</p> <p>民間機能との兼ね合いについても、上記プロセスの中で検討していきたいと思っています。</p>
【太田委員】	<p>子育て支援機能については、既存施設に比べて面積が広がっているため、私は早く整備されないと心待ちにしています。</p> <p>先ほど高橋（大）委員のご意見に関連して、駐車場に屋根があると車の乗り降りが楽になるため、検討していただけたらと思います。</p>
【川嶋会長】	<p>ご意見として承ります。</p>
【清水川委員】	<p>こういう言い方をすると不愉快に思われるかもしれませんが、第 1 回市民会議が楽しくなかったのはなぜだろうと考えていました。中野委員の言うとおりの、夢のある将来像が見えてこないことが原因ではないかと思います。市民会議に出席した身として、複合施設に対して夢のある議論ができていないと感じます。市の提示いただいた将来像は、期待を裏切られたという話ではなく、及第点の案を整理されている印象です。</p> <p>夢のある将来像を語ったうえで、実現が難しいものを一つひとつ検討していくことを、この会議で議論できれば楽しいものと感じると思います。</p>
【菊地委員】	<p>先ほど山脇委員から、本日説明のあった行政機能・規模の案については決定済みであるのか、大きな変更の余地はないのかという質問がありましたが、それに対する事務局の回答が得られていなかったのではないかと思います。</p>

	また、他県等へ類似事例の調査などは行っているのでしょうか。
【川嶋会長】	山脇委員の質問に対して事務局より回答をお願いします。
【事務局】	昨年 11 月に基本構想を作成し、それに則って基本計画を策定したいと考えています。したがって、規模自体は大幅に変更する想定はしておらず、機能的によりよいサービス内容が整備できればいいと考えていますので、その点について委員の皆様よりご意見を頂戴できればと思います。
【川嶋会長】	これまでの視察先についても、事務局の各担当課より説明をお願いします。
【事務局】	<p>歴史資料展示機能については、秋田県立博物館、東北歴史博物館、京都国立博物館、遠野市博物館、米沢上杉博物館、もりおか歴史文化館、大仙市の花火伝統文化継承史料館等について視察を行っています。</p> <p>図書館機能については、紫波町図書館、米沢市立図書館、秋田県立図書館、由利本荘市中央図書館を視察しています。</p> <p>生涯学習機能については、特段視察は行っていません。</p> <p>子育て支援機能については、山形県上山市のめんごりあ、天童市子育て未来館げんキッズ、秋田県内ではフォンテ AKITA 内にある秋田市子ども広場、秋田市子ども未来センター、ふたついで駅の駅内の子どもの遊び場、横手市 Y2 ぷらごを視察しています。ほかの施設も視察したいところでしたが、新型コロナウイルスの影響で、県外からの視察が難しい状況でした。</p>
【菊地委員】	視察先が施設の運営として成功した理由、良いところについて聴取し、湯沢市の事業に対してもどうしたら成功するか、という助言をもらってもよいのではないのでしょうか。
【戸部委員】	<p>私は市の検討した内容に賛同するつもりで本会議に参加していましたが、委員の皆様の意見をお聞きし、未来に向けた複合施設の整備のために必要なことを積極的に議論すべきだと反省しています。</p> <p>事務局からの説明を受けて、現在示されている行政機能・規模の案についても十分に市で検討しているというのは理解できました。ただし、行政の力に頼るだけでは賑わいを持たせることも難しいと思うので、民間の力も頼っていく必要があると思った次第です。</p>
【半田委員】	<p>私自身は行政機能より民間機能に興味があり、6 月議会を傍聴した際に、民間参入に関する佐藤功平委員の発言に対して、総務部長が「アイデア提案を募集します」と回答していましたが、それはいつ実施する予定なのでしょうか。また、私の周りには、複合施設ではこんな商売がしたいと考えている人もいます。基本構想の 14 ページには、「民間参入の可能性が見込めない場合は、実施方針策定及び事業者募集は行わない」との記載も見受けられますが、民間参入に対する市の意向を示してもらわなければ、私も本事業に対して気が乗らないと感じてしまいます。</p> <p>また、先ほど山脇委員から、観光拠点の整備に対する話がありましたように、行政機能を整備する視点から計画するのではなく、民間施設を整備する想定の中で行政機能として整備するようなプロセスでなければ、なかなか夢のある建物はできないのではないのでしょうか。</p> <p>なお、本事業は湯沢市のなかでも大規模な事業であるはずですが、市長が第</p>

	<p>2回市民会議に出席していないのは残念だと思います。できれば、第3回市民会議では出席していただきたいと思います。</p>
【川嶋会長】	<p>民間事業者への参入意向調査のスケジュールについて、事務局よりご説明をお願いします。</p>
【事務局】	<p>現在、民間事業者に対してアンケート調査を実施しています。今後、アイデア募集の段階として9月～10月頃にサウンディング調査を実施する予定です。また、どのような条件であれば実際に参画が可能であるかを冬頃に対面ヒアリングにて聴取する予定です。</p>
【川嶋会長】	<p>委員の皆様より一とおりのご意見をいただいたところですが、さらに重ねてご意見のある方はをお願いします。</p>
【高橋（大）委員】	<p>先ほどの事務局の回答の中で、行政機能・規模の案に大きな変更はないということでしたが、私たちは、既成事実のために市民会議の委員として集まったわけではありません。市民の代表として市へお願いをするために出席しているつもりです。「基本構想から変更はありません。」という返答ではなく、夢のある施設を整備するために「検討します。」と言っていただきたいです。半田委員やその他の委員の皆様からいただいた意見を計画に反映していただきたいと考えます。</p>
【中野委員】	<p>先ほど、視察先についてご回答いただきましたが、都会の高度機能を持った事例について確認することも必要かとは思いますが、子育て支援機能が実施した視察先のように、湯沢市と同規模で運営に工夫のある施設を視察すべきと考えます。</p> <p>また、歴史資料展示機能については、狭い敷地に複合化してしまうことで良いのでしょうか。施設を共有することが本当に複合施設としてのメリットであるのか、本日の議論を聞いていて分からなくなりました。委員の一人として、他の施設と比べない、オンリーワンの建物を整備したいと思います。</p>
【川嶋会長】	<p>歴史資料展示機能を駅前に整備する意義について、事務局よりご説明ください。</p> <p>委員の皆様から出た懸念点として、狭い敷地に保存機能を含めた歴史資料展示機能を整備することが良いのか、理由が伝わっていないのかと思います。</p>
【事務局】	<p>駅前に整備する意味としては、視察先のうち遠野市のように、図書館と博物館の複合により利便性が向上すると思われます。また、湯沢市には既存の歴史資料展示施設はありますが、本格的な展示ができる施設がこれまで整備されていなかったこと、ただし単館で整備することは難しいと想定されたことから、複合施設内に展示空間を設けることで、その他必要な機能は生涯学習機能や図書館機能と共有、連携できるメリットが得られると考えています。</p> <p>さらに企画展示ゾーンでは、文化財等をただ保存するだけでなく、活用していくために、例えば絵どうろうの展示を行う機能を持たせたいと考えています。</p> <p>以上より、観光の拠点としても活用できる歴史資料博物館として駅前の複合施設の一部として整備したいと考えています。</p>

【川嶋会長】	<p>湯沢市が有するすべての展示物を駅前に展示するのではなく、点在する展示施設・資料を一括してマネジメントすることで、駅前に来ればある程度の展示内容を多くの人に見てもらえることができ、また、点在する施設への案内機能としても機能することができるということが重要なのかと思います。駅前に500㎡程度で歴史資料を展示することに疑問を持たれないよう、多くの人たちに見てもらえる展示の拠点施設として整備する想定であることをしっかりと説明できる資料を、事務局は今後整理していただければと思います。</p>
【川嶋会長】	<p>行政課題を解決するための手段として行政機能 4,200㎡を整備することとしています。ただし、半田委員のご意見にもありましたが、民間事業者の提案内容によっては、行政機能よりも民間機能の方が大きい規模となることも想定されます。あくまで行政機能 4,200㎡は種地であって、民間事業者の発想によりどこまで夢のある施設となるかは、今後の提案によると考えていいと思われまます。民間事業者の参入が見込めない場合は、基本構想は白紙として、行政機能の再編も含めて検討することも課題として考えられます。高橋（大）委員のご発言のとおり、民間機能も踏まえて夢のある施設を建てるために議論することが今後の課題かと思われまます。</p> <p>資料 3、4 の説明と議論については以上として、行政機能については最低限の整備内容であることをご理解いただき、これをベースにモデルプランの作成を行い、中間報告段階にて基本計画案に関して議論いただければと思います。</p>

(3) その他

- ・事務局（市）より民間意向調査（アンケート調査）の実施概要の説明。

【川嶋会長】	<p>民間意向調査について、質問やご意見はございますでしょうか。</p> <p>アンケート調査以外にも、サウンディング調査等により民間事業者からアイデアの提案を受けるスケジュールとなっています。仮に民間事業者から意見が得られなかった場合は、行政として対応を考える必要があるかと考えまます。</p> <p>意見がなければ、議事は以上として、会議の進行を事務局へお返しします。</p>
--------	--

4 その他

【事務局】	<p>川嶋会長には議事進行いただきありがとうございました。</p> <p>第3回の市民会議については、民間意向調査の中間報告と基本計画（案）の中間報告として11月頃に開催予定です。具体的な日にちについては、決まり次第ご案内いたします。</p>
-------	---

5 閉会

- ・事務局より、閉会のあいさつ。

以上